



# 国民春闘共闘

第26号  
2016年5月11日

国民春闘共闘委員会  
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016年春闘・第4回進ちよく状況調査

## 暮らしを改善する大幅賃上げ実現へ 春闘終盤！たたかいを強めよう

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は10日、加盟単組を対象とした2016年春闘における第4回目の「春闘進ちよく状況」調査を実施し、19単産（2807組合）からの報告をまとめました。

### 1. 要求提出状況

2016年春闘における第4回進ちよく状況調査には別表の19単産（JMITU通信産業本部分は、JMITUに含む）から報告が寄せられ、交渉単位で2807組合での集計となりました。

5月10日段階で要求提出が確認できたのは調査組合の56.2%にあたる1578組合となっています。

単産別に要求提出率をみると、100%達成は、前回調査（4月19日現在）と同様に、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンの4単産で、9割台が全倉運（92.5%）、8割台が特殊法人労連（88.9%）、民放労連（80.2%）、化学一般労連（80%）の3単産、7割台が出版労連（78.7%）、JMITU（76.6%）、映演労連（72.7%）の3単産と続いています。

前回調査（19単産1475組合・52.8%）からは全体で103組合・3.4増増加しています。全農協労連（30組合・13.2増）、福祉保育労（44組合・7.5増）で提出組合を大きく伸ばしています。

前年同期（2015年5月15日現在；20単産1699組合67%）との比較では全体で91組合・10.8下回っています。報告単産の違いが影響しているほか、各組織で微減傾向となっており、要求提出率で前年同期を上回っているのは、特殊法人労連（11.1増）、生協労連（8.7増）、建設関連労連（7.8増）、化学一般労連（0.4増）の4単産に止まっています。尚、提出率100%の4単産は前年同率となっています。

### 2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の福祉保育労を除く）のうち、ストライキ権確立の確認が出来ているのは1090組合・49%となっています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、前回調査と同じく検数労連、全損保、郵政ユニオンの3単産で、特殊法人労連（88.9%）、映演労連（81.8%）、合同繊維（80%）、建交労建交労（70.2%）、日本医労連（61.7%）、JMITU（51.6%）と続いています。

前回調査から日本医労連（24組合・5.2増）、全農協労連（14組合・6.1増）をはじめ、民放

労連（3組合・2.4 増）建設関連労連（1組合・4 増）生協労連（1組合・0.7 増）で確立組合を増やし、全体で43組合・1.7 増加しました。

前年同期との比較では、全体では1.5 減となっていますが、ストライキ権確立100%の3単産で同率となっているほか、日本医労連（17組合・3.7 増）出版労連（9組合・10.3 増）特殊法人労連（3組合・33.3 増）映演労連（2組合・11.8 増）化学一般労連（2組合・3.5 増）全農協労連（2組合・2.1 増）合同繊維（1組合・20 増）の7単産が前年同期を上回っています。

### 3. 回答引出し状況

要求提出した1578組合のうち、回答を引き出したのは1097組合・69.5%となりました。前回調査同様に検数労連、郵政ユニオンが引出し率100%となっているのをはじめ、化学一般労連（93.1%）民放労連（91.1%）全倉運、出版労連（各89.2%）全印総連（87.3%）生協労連（83.1%）JMITU（82.9%）日本医労連（81.3%）合同繊維（80%）映演労連（75%）が高率で続いています。

前回調査からは全体で115組合・2.2 上昇しています。5月12日を自主交渉打切日に設定した全損保で回答が引き出されはじめたほか、福祉保育労（33組合増）日本医労連（21組合増）建交労（17組合増）全倉運（9組合増）民放労連（8組合増）化学一般労連（6組合増）など各単産で回答引き出し組合を増やしています。

前年同期（1115組合・65.6%）と比べ、回答引出し率は3.9 上回っています。単産別での回答引出し率をみると、建交労（7.7 増）生協労連（5.5 増）化学一般労連（5.2 増）全農協労連（3.2 増）出版労連（2.8 増）で前年同期を上回っています。

全農協労連や建設関連労連、金融労連、全損保、福祉保育労などではこれから交渉が本格化する組合もあり、統一闘争の一層の強化が求められます。

### 4. 回答内容

回答内容について見ると、<定昇あり>の職場（638組合）で「定期昇給+ベア」回答を引き出したのは回答組合中27.9%にあたる178組合となりました。前回調査（153組合・26.8%）から25組合・1.1 増えましたが、前年同期（190組合・28.7%）を37組合・1.9 下回っています。

「ベアゼロ・定昇のみ」回答は459組合・71.9%で、前回調査（417組合・73%）比1.1 減、前年同期比1.6 増となっています。化学一般労連の1組合は「定昇割れ」回答となっています。

<定昇制度なし>の職場（回答368組合）で「有額獲得」を引き出したのは285組合で、回答組合中77.4%となっています。前回調査（276組合・79.1%）からは比率で1.7 減少し、前年同期（341組合・85.5%）を8.1 下回っています。

「ゼロ回答」は83組合（回答組合中22.6%）となっており、「賃金引下げ回答」の報告は寄せられていません。

前年同期と比べ「定昇+ベア回答」や「有額獲得」の割合が減少していますが、「数次の交渉を重ねてのベア獲得」の報告が寄せられるなど、各組織が粘り強くたたかっており、今後の追い上げが期待されます。

## 5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

平均賃上げ額の確認が出来ている 703 組合での単純平均(一組合あたりの平均)額は 5,039 円となっています。前回調査(5,078 円)から 39 円減となり、前年同期(5,265 円)を 226 円下回っています。

そうした中、全農協労連(前年同期比+380 円)、建交労(同+542 円)、建設関連労連(同+820 円)、生協労連(同+189 円)、映演労連(同+645 円)では前年同期を上回る成果を勝ち取っています。

平均賃上げ率は 410 組合の平均で 2.05%と前回調査(2.04%)から 0.01 上昇し、前年同期と同率となっています。

ベースアップ相当分の水準をみると、額揭示のあった 159 組合での単純平均額は 2,042 円となり、前年同期(166 組合平均 1,955 円)を 87 円上回っています。

全農協労連の組合では人手不足が深刻化する中、人材確保の必要性を強調し、初任給引上げと、それに伴う月額一律 1 万円を超えるベースアップを勝ち取っています。

## 6. ストライキ実施状況

JMITU(100 組合)をはじめ、日本医労連(92 組合)、映演労連(7 組合)、民放労連(6 組合)、建交労(3 組合)、化学一般労連、生協労連、全印総連(各 2 組合)、出版労連、郵政ユニオン(各 1 組合)の計 216 組合(調査組合中 9.7%)が、のべ 316 回(同 14.2%)のストライキを実施しています。JMITU、化学一般労連、民放労連、映演労連では数次にわたるストライキが行われています。

映演労連は 4 月 20 日に産別統一ストライキに決起し、全国 12 ヶ所で集会を行い、約 400 人が参加。単組間のオルグ交換も活発に行われ、ストライキを大きく成功させています。

JMITUでは3月10日、17日の統一ストライキと4月後半の独自ストライキに立ち上がるなど、粘り強くたたかきを進め「定昇割れ」の初回答から上積みを重ねベースアップを引き出した組合もあります。

## 7. 妥結状況

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の 28%にあたる 402 組合となっています。

前回調査(281 組合・20.7%)から 121 組合・7.3 増えましたが、各組織で粘り強い交渉が行われており、前年同期(528 組合・31.1%)と比べ 126 組合・3.1 下回っています。

特に、JMITU(前年同期比 53 組合・28.2 減)、生協労連(同 31 組合・50 減)、全印総連(同 13 組合・20.8 減)、出版労連(同 13 組合・11.3 減)などで顕著となっています。

交渉を継続している組合やこれから交渉が本格化する組合も多くあります。春闘を流れ解散させずに、支援を強め、実質賃金の低下に歯止めをかけ、暮らしを改善する大幅賃上げの獲得に全力を上げて行きましょう。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法  
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化